

茨城県平和委員会第3回理事会報告

「戦争法廃止 2000万署名」を地域の隅々で取り組もう！

第3回理事会が、1月23日（土）午後1時から、青少年会館で開催されました。主要な議題は ①情勢討議 ②仲間づくり、戦争法廃止（2000万署名）、新聞意見広告、ワインの普及等、年末の取り組み総括と交流、③定期大会までの取り組みの確認 でした。水野代表理事の挨拶のあと、木村事務局長からの提案を受けました。上記の3つの柱建てで討議しました。会議の冒頭に、石井さん（土浦平和の会）から「宜野湾市長選挙の現地支援報告」がありました。また討議の中心は「戦争法廃止と2000万署名」の取り組みでした。最後に植田代表理事のあいさつで閉会。出席者は37人、議長は山口由夫常任理事（石岡平和の会）でした。

水野代表理事の挨拶

平和勢力をいかに多く生み出し、強くしていくかということが課題： 昨年は戦後70年の年でした。戦前は国民のすべての権利が否定される時代でした。しかも情報は大本営が独占し、国民には真実が知らされませんでした。治安維持法という法律があり、「戦争反対」といっただけで投獄され、極刑を受けました。その人たちを弁護する弁護士さえも検挙されるという、暗黒の時代でした。

そのような経緯で、戦争の惨禍を経験した日本は、戦後まもなく現在の平和憲法を制定しました。戦争放棄、戦力不保持を明記した憲法9条に、日本の未来が託されました。ところが安倍政権は、このような痛恨の歴史を意に介せず、これからまた「戦争をはじめよう」、「戦争のできる道筋をつけよう」と、集団的自衛権の行使を閣議決定し、議会で安保法制関連法、すなわち「戦争法」を強行採決しました。その後アメリカと一緒に戦争をする方向に急速に進んでいます。

今年はいかに平和勢力を多く生み出していか、強くしていくかということが、緊急の課題として求められています。

平和をつくる取り組みを討議し、「みんなで決めてみんなでやろう」という決意を、平和をつくる討議し決意を固めましょう。

伊達代表理事の報告

▼年末財政の概略報告 詳細な収支決算は定期大会に提出します。年末の収入は、「12月に請求した会費・新聞紙代」、「新聞意見広告費同金」・「ワイン代」です。

この中から、①「日本平和委員会へ会費・新聞紙代」②「意見広告掲載料」③「ワイン代」、④「事務所運営費1月～3月分」を支払います。①～③までは完納できます。④の部分少し足りない状況です。

しかし1月4日現在で、会費未収金もあります。これをこまめに集金することで乗り越えられる見通しです。

▼県平和委員会の法人化について 昨年、百里反対同盟の川合さんが亡くなりました。彼は百里平和公園内の初午まつりを行う土地を所有しています。相続した奥さんがご主人の意思を思い、今後も平和運動に使うことを希望していました。弁護士と相談して「平和委員会で引き受けるなら譲ってもいい」ということになりました。そのためには県平和委員会を「法人化」しなくてはなりません。

今後、県平和委員会を法人化することの「メリット」や「デメリット」を事務局や代表理事懇談会等で研究します。原案は常任理事会、理事会等の審議を経た上で、6月の定期大会に提案することにします。

2000万署名を地域の隅々から進めよう

— 取り組みの報告と意見 —

署名を集めてくれる人を、

たくさんお願いすることが大切

■那珂湊です。「意見広告の取り組み状況の広報する」ことに関しては昨年より前進したかなと思う。集約した情報は出来るだけ早く全会員に知らせる必要がある。「この時期に、全体でここまで到達している。」ということをお互いに確認することで連帯感が生まれる。今まではその視点が足りなかったと思う。今年は何回か出されことはよかった。ただ集約の責任者がだれなのかがはっきりしていない。平和委員会の弱点かなと思う。

平和かわら版No. 738 (2/5日号) 別刷り

図案は早いうちに出すべきだ。途中で変更があってもそれはそれでいいのではないかなと思う。商品（図案）が示されないのは困る。来年度の課題だと思うので検討してほしい。

また「目標を達成したからいい」という感覚があるのではないかな。それではまずい。その時点の達成状況をきちんと掴むことができる体制、責任を持って集約する人を置く体制をつくってほしい。

地域で「戦争に反対する市民の会」を結成している。先日は10人ほど集まって「サイレント・スタンディング」という宣伝行動に取り組んだ。

那珂湊では通勤者に対して、8月25日から12月8日まで、毎週月曜日から土曜日までの朝7時から8時に継続して宣伝行動をした。54回になる。この取り組みを、女性の方がツイッターしたところ、たった1週間で400以上のアクセスがあったという。顔見知りの人もできている。「継続は力なり」なので、今後も続けたいと思う。



■小美玉では、2,000万署名の取り組みの成果を毎週集約して地域に返す必要があるのではないかなと思う。提出が5月3日という期限がある。県平和委員会では「1人10筆以上」という提起だが、こんな数字で「県全体で50万筆」という目標に間に合うのか。共産党は「半数の25万筆やる」と言っている。残りが25万筆ならば、県平和委員会の提起している「1人10筆、全体で1万筆」なら25分の1程度だ。少なくとも「各市の人口の1割をやり切る」という目標が必要ではないか。「1人100筆、全体で10万」を提起すべきだ。

事務局では、各平和の会・平和委員会ごとにグラフ化して一目で見えるようにしてほしい。石岡では、封筒に「お願い文」と「署名用紙」と「受け取り用返信用封筒」を入れて郵送する取り組みを2月からやる。

■水戸では、封筒に入れた署名用紙をいろいろな会合で出会った人に直接に手渡ししてほしい。

(1/2ページ)



■土浦では、1月26日（火）の鎌田慧講演会は、「土浦地域の総がかり行動」の取り組みとなっている。共同で伝言カードを廻したり、チラシ配布などを行っている。統一戦線を展望した場合、この講演会を共同で取り組んだという経験が大きな意味を持っていると考えている。

2000万署名では「憲法を生かす共同センター」を結成して、共同の取り組みを進めている。1月9日には18名が参加して地域に入り、88筆の署名を集約した。どのように2000万筆を達成するのかの話し合いもしている。地域に入ることも取り組む。平和の会では足元を固めるためにも会員一人ひとりに連絡を取って、みんなが動き出せるような体制をつくっている。共同センターのようにみんなでやっていくことが求められているが、それと同時に平和の会としても独自に進める体制をつくるのが重要になっている。それぞれの団体が「署名の集約数に責任を持ってやろう」と確認している。そうしないと目標達成はおぼつかない。



■石岡では、1月17日に石岡駅前、「戦争法廃止統一行動」に取り組んだ。高校生を対象にしたがなかなか大変だった。「継続は力なり」の気持ちで取り組んでいる。ばらき台団地とか石岡団地などに入って署名や宣伝行動を行っている。1月29日にもばらき台団地に入る。声の出るものがあるといいので準備している。

■那珂です。2000万署名の達成を単純に考えれば、20筆集めてくれる人を100万人作ればいい。茨城というなら50万目標だから1人20筆で25000人必要になる。平和委員会で考えると会員が1000人いる。会員は自分で10筆集めるのではなく、「20筆集めてくれる人を10000人集める」なら、それで20万筆だ。そういう運動を提起すべきだと思う。

また、「地域で2000万署名を集めよう」という組織を作ることが必要だ。どれくらい結集するかはわからないが、「地域の一点共闘」で取り組める組織を作らないと2000万筆は難しいと思う。個人の頑張りは大切だが、それだけでは限られた範囲しか行けない。どこの地域をどこの団体に分担してそこをくまなく歩くことができるかどうかということだ。那珂市は15000戸ある。いままではせいぜい10000戸くらいしか行けなかった。今回は他地区からの応援がないというので頑張っ

た。応援がなくても15000の全戸へのビラまきをやり切った。その結果「次もまたやろう」と頑張っている。地域に責任を持ってやり切る組織を作っていくことが重要だ。

軍事産業の部分では、今までは日本の軍事費は「GDPの1%」と言われてきた。日本はGDPが500兆円ということで、軍事費5兆円で抑えられてきた。しかし安倍政権になって、5兆円をオーバーしてきた。すでに航空自衛隊は最新鋭のF35戦闘機を24機も予約している。オスプレイや水陸両用艇などの購入に走っている。そのため軍事費は大幅にアップしている。また軍事産業も原発産業も海外への売り込みに奔走している。原発輸出では、インドには安倍首相が自ら乗り出して売り込んでいる。そのため福祉や医療費・介護などの予算を大幅に削減している。戦争する国づくりは国民の生活を大幅に圧迫しているということも情勢としてつかんでおく必要がある。

■阿見では、大衆組織は多くない。平和の会、九条の会、新婦人、農民組合、共産党の5団体だ。行動は「阿見町実行委員会」を結成している。署名などは共同行動を進める。団地やスーパーの前で行う時はほとんどが共同行動だ。1月10日の成人式は阿見町の体育館で行われたので、署名や宣伝、チラシ配布を行った。集約は九条の会で行なった。署名用紙は「取扱い団体 阿見町実行委員会」を入れて、統一署名用紙で取り組んでいる。この時の署名用紙現物は新婦人に集約した。

その他の場合は、九条の会に集約し、その後に参加した団体で話し合い、総計がはみ出さない程度に分けます。月に3回程度の共同行動を行っている。

■北茨城では、「北茨城実行委員会」という名称で署名活動を始めている。12月からスタートして、透明な袋に署名用紙2枚と返信用封筒を入れ、「北茨城実行委員会とはどのような組織なんだ」という呼びかけの趣旨を書いた3点セットを、過去の九条の集いに参加してくれた人に送付した。

また最近の集会に参加してくれた人には2人ペアで120件ほど戸別訪問をした。2人で掛け合い漫才のようにして、どこの政党を支持しているかがいまいが、「憲法違反の戦争法反対」の署名は政党党派関係ないはずだ。どこが集約するかが

さっきから議論されているが、最終的には東京の実行委員会が集約するのであって、茨城県が集約するのではない。但し、平和委員会の事務局のほうが「北茨城では何筆あつまりましたか」と聞いてくれば答えるが、どこが集約するのかについてはあまり考える必要はないと思う。

1月は今日まで23通の返事があり、430筆くらい集まった。「切手を貼らなくてもいい」という封筒で返信があったもののほとんどには、署名で埋まっている用紙が4枚も5枚も入っている。

■鹿行です。いろいろな団体に所属しているが、年金者組合の署名と一緒にやろうということで近所を回った人が、あつという間に30筆ほど集めてきた。反対した人は2人だけだった。その他は全部の人が書いてくれた。やはり地元に出て実際に行動すれば、顔見知りだから「そんな法律なら、署名しますよ」とことになる。それぞれの団体で、地固めにまずいくらかは活動していないとほかの方に呼びかけても、ちゃらんぼらんになってしまう。できるところから手を出して、実績を作る必要があるのではないかなと思う。

■内原・友部です。成人式の笠間公民館の会場で「豆本」を配った。駐車場が混んでいたため、入り口の手前に止まった時に手渡した。受け取りが非常に良かった。ほとんどが「ありがとうございます」と言いながら受け取った。

署名はおおっぴらにはできなかったが、9筆ぐらい取った。大学生のような人が「僕もこのような署名をやっているんです。こういう時にどんどん進めて下さい」と言われた。

1月には3回くらいの共同行動を行った。現在まで350筆くらい集めている。これからは週2~3回くらいの行動する計画だ。できれば毎日やりたいのだが、そうもいかないのが悩みだ。

植田代表理事の挨拶



長時間にわたる討議をありがとうございました。今の情勢が非常によくありません。沖縄・宜野湾市長選は明日（1月24日）投票です。何としても勝ってもらいたい。わたしは署名用紙をかわら版と一緒に配布しています。協力してくれる方々も増えています。最後までやる決意で頑張りましょう。（拍手）

